

焼き魚を食べるイエス

ルカによる福音 24:35-48

（そのとき、エルサレムに戻った二人の弟子は、）道で起こったことや、パンを裂いてくださったときにイエスだと分かった次第を話した。

こういうことを話していると、イエス御自身が彼らの真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。彼らは恐れおののき、亡霊を見ているのだと思った。そこで、イエスは言われた。「なぜ、うろたえているのか。どうして心に疑いを起こすのか。わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおりに、わたしにはそれがある。」こう言って、イエスは手と足をお見せになった。彼らが喜びのあまりまだ信じられず、不思議がっているので、イエスは、「ここに何か食べ物があるか」と言われた。そこで、焼いた魚を一切れ差し出すと、イエスはそれを取って、彼らの前で食べられた。

イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。」

説教

福音では「復活する・復活させる」を表す言葉として、エゲイローとアニステミを用います。4月8日の復活の主日の朗読箇所はエゲイロー、きょうの箇所（三日目に死者の中から復活する）の復活はアニステミがつかわれています。日本語の「復活する・復活させる」はもっぱら「死者が生

き返る」ことを表す意味をもつ言葉になりますが、エゲイローやアニステーミは基本的には「寝ている者を起き上がらせる」とか「座っている者が立ち上がる」を意味します。ギリシア語ではそこから意味がふくらんで、死者の復活をも表します。エゲイローやアニステーミはもともとは日常用語ですから、日本語の「復活する・復活させる」よりはずっと具体的なイメージを伴った言葉です。きょうの朗読に「三日目に死者の中から復活する」とありますが、「まるで寝ていた者が立ち上がるように、死んだ者が立ち上がる」といったイメージの表現となっています。ギリシア語で云うアニステーミという意味を理解すると、復活もなんとなくわかり易い気がしますが、いくらわかり易いからといっても信じること（復活を信じる、つまり復活信仰）とは別問題です。弟子たちもなかなか信じられなかったようです。

「なぜ、うろたえているのか。どうして心に疑いを起こすのか。わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えたとおり、わたしにはそれがある。」ルカ 24:38-39

先週の朗読では双子のトマスだけが、おれは見るまで信じないといって、ひとりだけ駄々っ子みたいに書いてあったのですが、きょうの朗読では、さわってよく見なさいとイエスは手足を見せるのに弟子たちみんな、亡霊じゃないかと疑っていたようです。

その弟子たちの（喜びのあまりまだ）信じられなかった様子を察したイエスはなんと奇策にでます。

「ここに何か食べ物があるか」と言われた。そこで、焼いた魚を一切れ差し出すと、イエスはそれを取って、彼らの前で食べられた。ルカ 24:41-43

福音書の中でイエスはよく食べ、よく呑んだ（大食漢で大酒飲み マタイ 11:19、

ルカ7:34) と書いてあり、宴会にもちよくちよくお呼ばれしていたようですが、なにを食べていたのかを具体的に書いてある箇所はここだけじゃなかったか
と思います。

弟子たちは焼き魚を食べるイエスを見てイエス復活を信じます。そういえば、
エマオへの道の二人の弟子もイエスがパンを裂いたところで心の目が開かれ、
復活のイエスを信じてエルサレムに舞い戻ったのでした。

福音書では魚のはなしは 5000 人の給食やガリラヤ湖の大漁など、いろいろ
な箇所にでてきます。関係なさそうでも、よくよく読んでみるとどうも全部
つながっているように思えてきます。

ふつうの感覚で言ったら畏れおおいことですが、わたしたちは礼拝でイエス
のからだをいただきます。礼拝するということは復活を信じますという信仰
告白を体現していることなのだと、改めて実感できます。

聖餐をいただくということはわたしたちにとってこのような意味があるのだ
ときょうのテキストでイエスははっきりと語っています。

**イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いて
ある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得さ
せる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムか
ら始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。ルカ 24:45-48**

主イエスのことばに耳を傾け、心の目を開かせていただくことと成りますよ
うに。
